

平成22年度

事業報告書

社会福祉法人札幌厚生会

救護施設 静心寮

総括

はじめに

東北地方を襲った東日本大震災は、社会福祉にも大きな打撃を与えたことは言う迄もありません。当施設も災害支援として職員を派遣しましたが、その報告には言葉を失うばかりでした。今後は人的支援が中心になると思われますが、引続き協力体制を準備しておきたいと思えます。

一方、福祉分野においてはめまぐるしい制度改革が続き、経済面では依然として雇用の低迷が続いております。

その様な中、施設における今年度平均取扱人員は97.9人と定員を下回り厳しい運営となりましたが、予算運用の見直しを図ることによって乗り切ることができました。

1. 自立支援の強化

心身に様々な障害を持つ利用者を抱える救護施設において、地域社会への道筋をつける支援、その後の訓練の場としての機能を発揮する施設として通所事業、居宅訓練生活事業、ショートステイ事業、それぞれについて検討を進め次年度に具体化を目指します。

2. 生活環境整備

利用者の高齢化、重度化による日常生活動作（ADL）の低下が顕著であり、要介護度も高まってきています。

又、感染症対策はもちろん、利用者さんの日頃の観察に重点をおき、健康管理に努めました。しかし、近年亡くなられる方が多いのは、その原因は何か、日頃の観察は十分か、しっかりしたスピードある対応が求められます。

さらに、職員の危機管理の高揚を図る意味からも、多種多様な避難訓練を実施し、利用者さんの安全を守ることに心がけました。

3. 経営管理と財政執行

冗費の節減と創意工夫は言う迄もありませんが、最重視されるのは利用者さんの定員確保と職員の適正配置及び、予算執行の再編であると思えます。従来の慣習を大きく見直した予算編成と執行が今後の課題と思えます。

4. 専門職化への強化

職員研修への参加はもちろんのこと、個々それぞれに適した研修参加と専門職としての

啓蒙を高めることに主眼を置き実施しました。

今後は、研修委員会を活発にし、より実践的な内部研修を充実させたいと考えます。

又、その他各種委員会も設置されていますが、十分な機能を発揮していないことから、職員の意識改革を求めながら運営していきます。

5. 個別支援計画の強化

個々の支援計画は進められてきましたが、まだまだ十分とは云えないことから、その内容の見直しを図りました。職員が情報の共有化を図り個々の支援マニュアル作りに全力を注ぎます。

6. サービスの質の向上

利用者さん本位のサービスとなるよう自己評価を行なうと同時に、共通目標を再認識しスキルアップを目指しました。又、今後第三者評価受診の準備を進めて行きます。

7. 施設整備

築15年を経過した建物は保守、整備の必要性が高まり、その都度対応してきましたが、今後は、中・長期的計画に基づいて環境整備を行なっていきます。

一方、分煙化による喫煙室の整備及び、デジタル放送切り替えによるテレビ器機の総入れ替えは完了することができました。

8. 地域交流と情報開示

地域との連携は不可欠なものであり、今年も町内会の各種行事等に参加すると共に、施設行事へのボランティア参加等を頂き交流を深めました。

又、刊行誌「みちしば」の定期発行により情報の開示を実施しました。新年度は施設ホームページを立ち上げる予定です。

職員の配置状況

H23.3.31現在

職員	施設長	事務員	指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員	医師	介助員	その他	計
定数	1	2	1	17	1	1	4(1)	(1)	1		28(2)
現 員	専任	1	2	1	14	2	1	4		1	26
	兼任		1					(2)			1(2)
	計	1	3	1	14	2	1	4	(2)	1	27(2)

臨時職員配置状況

				4			4			夜警・清掃 3	11
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	------------	----

入 所 者 の 状 況

1. 月別入退所調

H23.3.31 現在

理由 \ 月	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
入所人員	3	3	2	4	2	5	3	3	3	1	3	2	34
退所人員	4	4	0	3	5	2	4	3	3	3	1	1	33
月初日現在員	98	97	96	99	99	96	99	100	98	98	96	99	1,175
延人員	2,842	2,950	2,777	2,981	2,958	2,837	3,017	2,999	2,878	2,960	2,681	3,016	34,841
1日当平均人員	94.7	95.2	92.6	96.2	95.4	94.6	97.3	98.1	92.8	95.5	95.6	97.3	95.5

2. 年齢別調

年齢 \ 性別	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～	計
男	0	1	0	12	12	12	8	6	4	1	56
女	0	0	1	7	7	5	10	7	4	2	43
計	0	1	1	19	19	17	18	13	8	3	99
%	0.0	1.0	1.0	19.2	19.2	17.2	18.2	13.1	8.1	3.0	100

・男子平均 66.6歳

・女子平均 69.0歳

・総平均 67.6歳

3. 障害別調

障害別 \ 性別	知的障害	身体障害	精神障害	重複障害	その他	計
男	12	7	16	9	12	56
女	10	3	13	10	7	43
計	22	10	29	19	19	99
%	22.2	10.1	29.3	19.2	19.2	100

4. 日常生活状況調

区分	歩行			食事			入浴			着脱衣			排泄			身辺整理			金銭管理		
	自立	杖等の歩行補助具使用	車椅子使用	自立	一部介助	全面介助															
人数	73	10	16	83	14	2	41	38	20	78	17	4	76	16	7	38	44	17	9	17	73
%	73.7	10.1	16.2	83.8	14.2	2.0	41.4	38.4	20.2	78.8	17.2	4.0	76.8	16.2	7.0	38.4	44.4	17.2	9.1	17.2	73.7

5. 入所者の在寮期間調

年齢 性別	1年未満	1~3年 未 満	3~5年 未 満	5~10年 未 満	10~15年 未 満	15~20年 未 満	20~30年 未 満	30年以上	合 計
男	8	3	8	8	10	2	9	8	56
女	5	7	4	4	2	4	4	13	43
計	13	10	12	12	12	6	13	21	99
%	13.1	10.1	12.1	12.1	12.1	6.1	13.1	21.3	100

・男子平均 13.8年 ・女子平均 17.6年 ・総平均15.5年 ・最長 53年

6. 身体障害者手帳等級調

障害別 性別	1	2	3	4	5	6	合 計
男	4	4	3	1	0	0	12
女	1	1	1	2	0	1	6
計	5	5	4	3	0	1	18

7. 保健福祉手帳等級調

等級 性別	1	2	3	合 計
男	1	13	5	19
女	4	8	3	15
計	5	21	8	34

8. 療育手帳調

等級 性別	A	B	B-	合 計
男	1	3	1	5
女	1	4	1	6
計	2	7	2	11

9. 年金受給状況調

性別 \ 種類	国民年金				厚生年金			その他	計
	障害基礎		障害	老齡	障害	老齡	遺族	通算老齡等 公務員共済等	
	1級	2級							
男	8	12	0	3	2	7	1	6	39
女	10	12	0	4	0	6	1	3	36
計	18	24	0	7	2	13	2	9	75